

たんぽぽ 8月



年々、暑さが強くなる夏ですが、テントで日陰の場所を増やして少しでも水遊びが出来る日を設けられるようにしました。噴水マットも用意し、水の心地よさを感じながら存分に楽しんでいたたんぽぽ組の子ども達です。

8月でたんぽぽ組の水遊びは終了します。水遊びセットのご用意ありがとうございました。

はなびがありがとうございますよ



お家の人と花火を見に行つた子が花火の話をいろいろ教えてくれ、お部屋でも絵本「はなびがありがとうございますよ」を楽しみました。さらに夏らしさを感じられるよう、水遊び中指絵の具を付けた手で、黒画用紙にペタペタ手形を押してもらつたものを、じゃばら折りして丸くし、花火を作つて部屋に飾りました。「花火やね」と指を指したり、絵本を見ている途中で飾りの花火に目を向けたりと楽しんでくれた子ども達でした。今後も室内でも季節感を感じられるような遊びをしていきたいと思ひます。



夏の出会い

「おばけなんてないさ」の歌や、歌が絵本になっているものを通して、おばけへの関心が高まっていた子ども達。歌詞にある『れいぞうこにいられてカチカチにしちゃおう』から、おままごとの冷蔵庫の中に注目し、「おばけいないね」と確認する子の姿がありました。そんな姿から、ある日冷蔵庫の中に実際に絵本の絵をこっそり貼り出してみたところ、「おばけおるー!」「カチカチになつとる!」と大興奮で発見!冷蔵庫に釘付けになっていました。次の日にはおばけがいなくなると、少し寂しそうな子ども達。そこで保育教諭が「また遊びに来てほしいね、何があつたら来てくれるかな?好きな食べ物何かな?」と声を掛けてみると、絵本の中でおばけと男の子がお団子を食べていることを思い出した子が「お団子じゃない?」と教えてくれ、ロンディでお団子作り。お皿に入れておいておくと、翌日空になつたお皿に気付き、「お団子ない!おばけ食べたかな?」と考える子ども達。おばけをこっそり登場させると「なんかおるよ?あ、おばけやー!」「やつたー!」と飛び跳ねて喜んでいました。日を追うごとに、おばけが増えたり、大きくなつたりとワクワクの連続でした。「お団子作る」「一緒に遊びたいんじゃない?」など親近感を持って優しくしてくれた子ども達の姿にほっこりしました。お盆の終わりと共に姿が見えなくなつたおばけ達。「おばけなんてないさ」の歌は5題目までありますが、歌えるようになった子が多くなりました。おばけとの出会いをきっかけに、今後もファンタジーの世界を楽しめるよう、様々な絵本を楽しんでいきたいと思ひます。

カボチャクッキング!

畑の水やりのお手伝いをしながら「カボチャ食べたいなあ」と楽しみにしていたたんぽぽさん。残念ながらたんぽぽ組のカボチャはうまく育たず…すみれ2組さんがおすそ分けしてくれました。クッキングしたいと思っていた所、お部屋にぐりとぐらから『カボチャプリンの作り方』のお手紙が届き、クッキングをしました。工程を興味津々で見たり、カボチャをマッシャーでつぶす所をやってみましたよ。パクッと食べて「美味しい」と笑顔が見られましたよ!苦手な食材も実際に育てた野菜を自分達でクッキングすると食べらる子もおり、今後も育てたり、作ったりする経験をたくさんしていきたいと思ひます。



パズルは集中力を高め、手先の器用さを養います。お部屋には30ピースを超えるものや、2層になっているものなど様々な種類を出しています。初めは「これどこ?」と聞きながら取り組んでいても、すぐにピースのはめる場所を覚え、スムーズにはめ進めるようになる子ども達。また、分からない時は近くにいる友達に場所を聞いたり、「ここだよ」と教えてくれる姿があつたりと友達との関わりのひとつにもなっていますよ。今後も子ども達の発達に合わせながら、パズルを入れ替えていきますよ。

上段

下段

